



# 徳成寺 寺とかわら版 第201号 2023年9月



いつもありがとうございます。住職の大山です。

前回のかわら版で第200号目の発刊を数えました。

読者の方からのご指摘で気が付いたようなあり様です。皆様に

支えて頂いて、心から感謝申し上げます。先日、見ていた朝ドラ

「らんまん」で、主人公・牧野萬太郎は、自分のやりたい仕事が明確に  
なったとして「人間の欲望に踏みにじられる前に、全ての植物の名まえを

明らかにし、図鑑に著わして永久に刻む」と堂々と宣言しておりました。

それになぞらえるなら、親鸞は「人間の欲望に踏みにじられても、なお人間としての  
尊厳さを自分自身のなかに見出して生きていくことができる道を生きた人々の歩みを  
永遠に刻む」お仕事に取り組みられたのだと思うのです。そのお仕事の千分の一でも、  
万分の一でも現代を生きる皆さんと共に分かち合いたく、また一号お届け致します。

発行責任者  
住職  
大山健児  
坊守  
大山ひとみ



## 大山超世の耳を澄ませば

お世話になっております、副住職です。

お盆参りでお世話になった御門徒の皆様ありがとうございました。

7月末に開催したディスコイベントのお参り先の方から反響があり、大変驚きました。かわら版でイベントの様子の記事をご覧になった事で、若い頃はディスコに通ったと言う思い出話や、好きな曲の話、またやってほしい！と言うお声を聞かせていただいて、いつものお盆参り以上に話が弾んだように感じました。音楽の良い所は年齢や人間を選ばず人と人を繋ぐ所だと思っています。先日のイベントも若い方から年配の方まで幅広い方に来て頂いて大変嬉しく思いました。これからも親しみを持って接していただけるお寺を目指して頑張っていきたいと感じました。今後ともよろしくお願ひします。

